

組み立て設置説明書

品番 TY-S50PX20
TY-S42PX20
TY-S37PX20

この説明書は、お客様が大切に保存してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

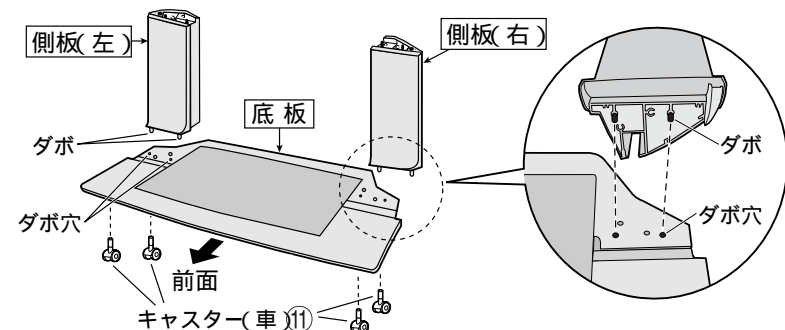
付属品一覧表 (本プラズマテレビ台には下記の付属品がありますのでお確かめください。)

No.	部品名	員数	略図	No.	部品名	員数	略図	No.	部品名	員数	略図
①	組み立て用ねじ	4		⑤	組み立て用ねじ(黒ねじ)	4		⑩	ガラス棚支持金具(左)	2	
②	ガラス棚用固定ねじ	8		⑥	スタンドポール(右)	1		⑪	キャスター(車)	4	
③	ガラス棚支持金具用固定ねじ(黒ねじ)	4		⑦	スタンドポール(左)	1		⑫	キャスター座(黒)	4	
	背面コードカバー用固定ねじ(黒ねじ)	3		⑧	コードクランパー	6					
④	スタンドポール用固定ねじ	4		⑨	ガラス棚支持金具(右)	2					

組み立て方法

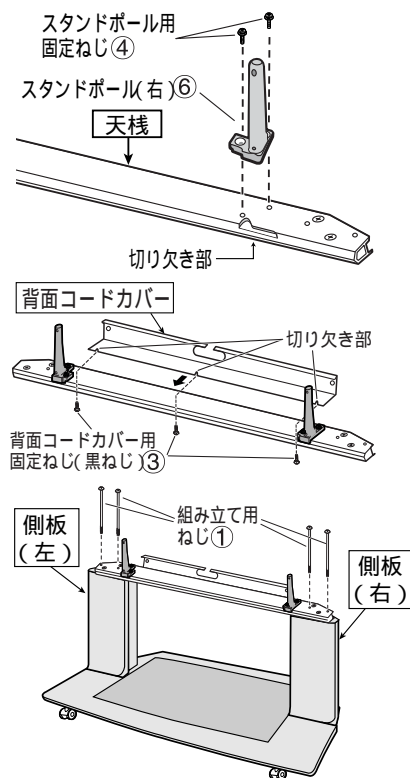
1 底板、側板、キャスター(車)の取り付け

- 1) キャスター(車)⑪(4個)を底板にしっかりと挿入してください。
- 2) 側板(左右)のダボを底板のダボ穴に合わせて挿入してください。



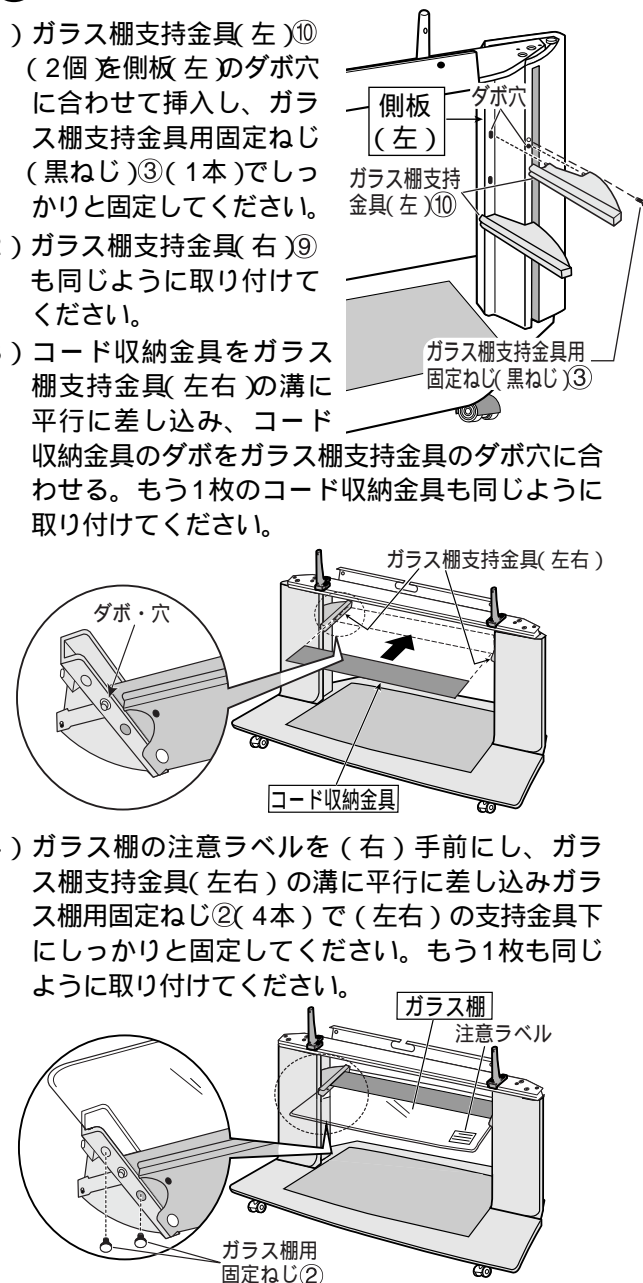
2 天棧、背面コードカバーの取り付け

- 1) スタンドポール(右)⑥を天棧の右側切り欠き部に合わせてスタンドポール用固定ねじ④(2本)を、ドライバーでしっかりと固定してください。左側も同じように固定してください。
- 2) 背面コードカバー用固定ねじ(黒ねじ)③(3本)を天棧裏面のねじ穴に仮固定し、背面コードカバーの3か所の切り欠き部を差し込み、ねじをしっかりと固定してください。
- 3) 側板(左右)のダボに天棧のダボ穴を合わせて挿入し、組み立て用ねじ①(4本)で、しっかりと固定してください。



3 ガラス棚、コード収納金具の取り付け

- 1) ガラス棚支持金具(左)⑩(2個)を側板(左)のダボ穴に合わせて挿入し、ガラス棚支持金具用固定ねじ(黒ねじ)③(1本)でしっかりと固定してください。
- 2) ガラス棚支持金具(右)⑨も同じように取り付けてください。
- 3) コード収納金具をガラス棚支持金具(左右)の溝に平行に差し込み、コード収納金具のダボをガラス棚支持金具のダボ穴に合わせる。もう1枚のコード収納金具も同じように取り付けてください。
- 4) ガラス棚の注意ラベルを(右)手前にし、ガラス棚支持金具(左右)の溝に平行に差し込みガラス棚用固定ねじ②(4本)で(左右)の支持金具下にしっかりと固定してください。もう1枚も同じように取り付けてください。



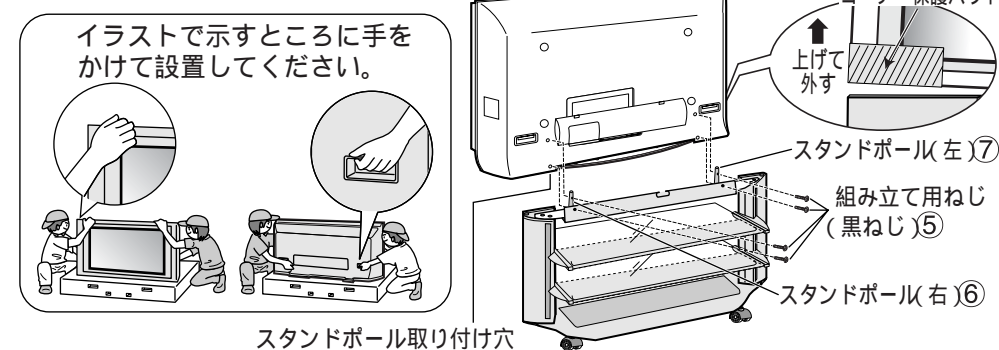
ガラス棚は注意ラベル貼付け面が上面、手前側です。ガラス棚は各12kg、底面収納部は20kgを越える機器を載せないでください。

設置方法と設置後のお願い

1 プラズマテレビの設置と固定方法

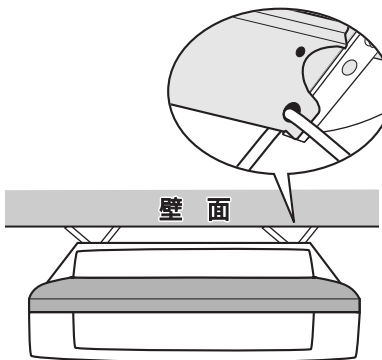
プラズマテレビの設置は下記イラストに従いおこなってください。プラズマテレビの前面パネル下部は持たないでください。

- 1) プラズマテレビ本体のスタンドポール取り付け穴をスタンドポール⑥⑦(2本)に合わせ、止まる位置まで入れてください。プラズマテレビ本体の左右を少し持ち上げて、プラズマテレビ本体下部についているコーナー保護パットを外してください。
- 2) 組み立て用ねじ(黒ねじ)⑤(4本)でプラズマテレビ本体とスタンドポール⑥⑦を固定してください。



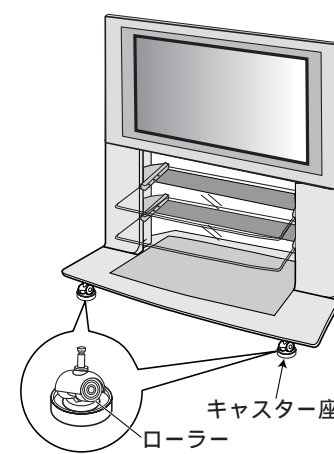
プラズマテレビの転倒防止について

壁面に固定する場合の使用例



上部コード収納金具、下面の(左右)穴にじょうぶなひも、又はクサリなどの市販品をご利用いただき壁や柱など、堅牢部にしっかりと取り付けてください。

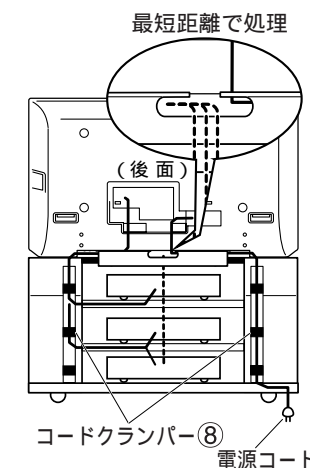
2 プラズマテレビの設置方法とキャスター座の使い方



キャスター(車)⑪は左図のようにローラーを前方に向けてください。安全のため、キャスター(車)⑪にはキャスター座⑫(4個)を敷いてください。

3 ビデオなどを収納してご使用になる場合

配線処理は端子カバーを外して背面コードカバー、ガラス棚下のコード収納金具の溝から(左右)側板の溝を通して処理を行ってください。収納機器には、コードが短い物があります。図の様に最短距離で処理を行ってください。コード処理の後、溝からコードがはみださないように、コードクランパー⑧(6個)を使って、処理を行ってください。その後、端子カバーを取り付けてください。コードクランパー⑧が残った場合は、大切に保管しておいてください。収納機器の増設時に必要になります。



ガラス棚上段はセンタースピーカーやAVアンプの専用スペースです。ビデオデッキなどを置くと画像が乱れる場合があります。

取り扱い上のお願い

- 1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
- 2) お手入れについて
乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3) 粘着性のテープやシールをはらないでください。プラズマテレビ台表面を汚すことがあります。

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号

—パナソニックお客様ご相談センター—
電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365
FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236
365日/受付9時~20時

安全上のご注意


必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で説明しています。

注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

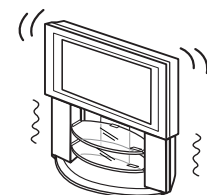
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

注意

カタログに記載されているプラズマテレビ以外には、使用しないでください



禁止



プラズマテレビ台に載せられる総質量(プラズマテレビ本体の質量+ガラス棚・底面収納部に載せる機器の質量)を越えて長期間使用されますと破損してけがの原因となることがあります。
ガラス棚は各12kg、底面収納部は20kgを越える機器を載せないでください。

プラズマテレビ台に乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください



禁止

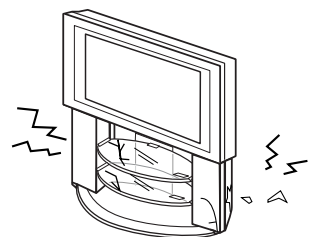


(特に小さなお子様にご注意ください。)
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

万一、プラズマテレビ台やガラスに変形・ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しないでください



禁止



そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。すぐに販売店へご連絡ください。

ガラスを傷つけたり、衝撃を与えないでください



禁止



ガラスは強化ガラスです。使い方を誤ると割れる恐れがあり、けがの原因となることがあります。
鋭利なものや、尖ったものなどで傷をつけないでください。
強化処理をしたガラスは、傷が入った状態で長期間ご使用になりますと、傷が進行し自然に破損することがあります。
傷が入った場合は、販売店に相談して、新しいガラスと取り替えてください。

イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

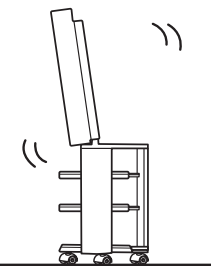
必ずお守りください

注意

プラズマテレビ前面部をプラズマテレビ台から、はみ出したり、片寄った載せかたをしないでください

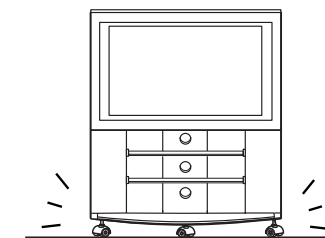


禁止



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
きめられた位置に載せてください。

水平で安定した所に据えつけてください

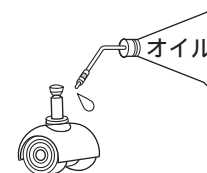


倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

キャスター(車)を使用される場合は、全てのキャスターを確実に取り付け、キャスター座で止めてください。
不安定な場所ではキャスターをはずしてください。
(畳や毛足の長いじゅうたんなど)

キャスター(車)には注油しないでください

禁止

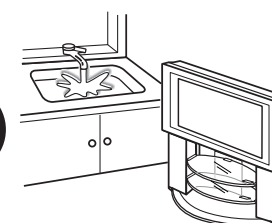


キャスター(車)のひび割れ・破損の原因となり、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

湿度の高い場所では使用しないでください



禁止



長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

移動させるときは、キャスター座を取り除いてから、移動させてください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

プラズマテレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください



指に注意

けがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください
また、裏板や仕切り板(補強板)は確実に取り付けてください



不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。
機種によっては、仕切り板(補強板)のない台もあります。

プラズマテレビは転倒防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。
プラズマテレビの取扱説明書および転倒防止説明書を参照。